

2015年10月27日  
イオンデライト株式会社

## (株)白青舎の公開買付けを実施。業界の統合・再編を目指す

当社は本日開催された取締役会にて、J. フロント リテイリング(株)の関係会社である(株)白青舎(以下「白青舎」といいます。)に対する公開買付けの実施を決議しました。

白青舎は、今年で設立60周年を迎える業界の草分けの一社であり、(株)大丸松坂屋百貨店の東京店をはじめ百貨店店舗の清掃業務を中心に事業展開しており、長年の豊富な経験を有し、高品質なサービスを安定的に提供できるノウハウを蓄積しています。

また、1979年には店頭市場に株式を公開し、コンプライアンスの徹底に努めると共に、従業員の教育にも積極的に取り組んできました。

当社は、イオングループの中核企業としてグループ内外の施設に対し、清掃業、警備業、設備管理業を中心に多岐に亘る業務を提供する総合FMS(ファシリティマネジメントサービス)事業を展開しています。また、業界でもいち早く海外市場にも参入し、現在は中国、マレーシア、ベトナムに進出しています。

当社や白青舎が事業を展開する本邦のビルメンテナンス市場の中でもとりわけ清掃業においては、近年、新型インフルエンザやノロウイルスなどの感染問題やPM2.5などによる空気環境問題が表面化する中、美観の維持を重視した従来の「清掃」に加え、除菌・殺菌といった感染対策や除塵技術を含めた「衛生清掃」へと事業領域が拡大しています。この分野では、白青舎は既に工場等において目に見えない微粒子の数を規定値内にコントロールし「究極の清掃」と言われるクリーンルーム清掃に20年余の実績があります。

当社もこのような事業環境の変化を成長の機会と捉え、これまで教育設備・施設、研究開発活動等に積極的に投資を行うと共に、病院等施設への営業活動を強化しています。また、国内で培った高品質なサービスを強みに、海外では、現地有力企業との業務提携や合弁会社の設立により事業基盤を構築し、地域ネットワークを強化することで成長を加速させています。同時に、同業他社の買収や提携の機会を追求し、トップ企業として業界の統合・再編の促進に向けた活動に能動的に取り組んできました。

当社としては、本邦の清掃業界は依然多数の企業による競争が行われていますが、今後の環境変化の波を乗り越えていくためには、有力企業が連携を深め幅広い協業を実現することにより、スケールメリットを活かした経営を追求していく必要があると考えています。今回の公開買付けもこの考えの基に実施しました。

当社は、白青舎の組織の優れた点を活かした自主・自立の経営を尊重するとともに、両社が培ってきたノウハウ・技術を共有し営業体制を強化してまいります。それにより、新たなお客さまへの提供価値を生み出すとともに、従業員の皆さまの更なる活躍の場を生み出せると考えます。

公開買付けの詳細については、本リリースのほか、本日公表しました適時開示資料「株式会社白青舎株券等(証券コード:9736)に対する公開買付けの開始に関するお知らせ」も併せてご覧ください。

当社グループは、今回の公開買付けを機に、さらに業界の統合・再編に向けた活動に取り組み、経営理念として掲げる、お客さま、地域社会の環境価値を創造し続けるため、絶えず自らを変革し競争力を身につけ、名実共にアジアNo.1の総合ファシリティマネジメント会社を実現してまいります。

以上

(本件に関する問い合わせ先: グループ戦略本部長 京本 明志 06(6260)5632)

(ご参考資料)

白青舎の概要

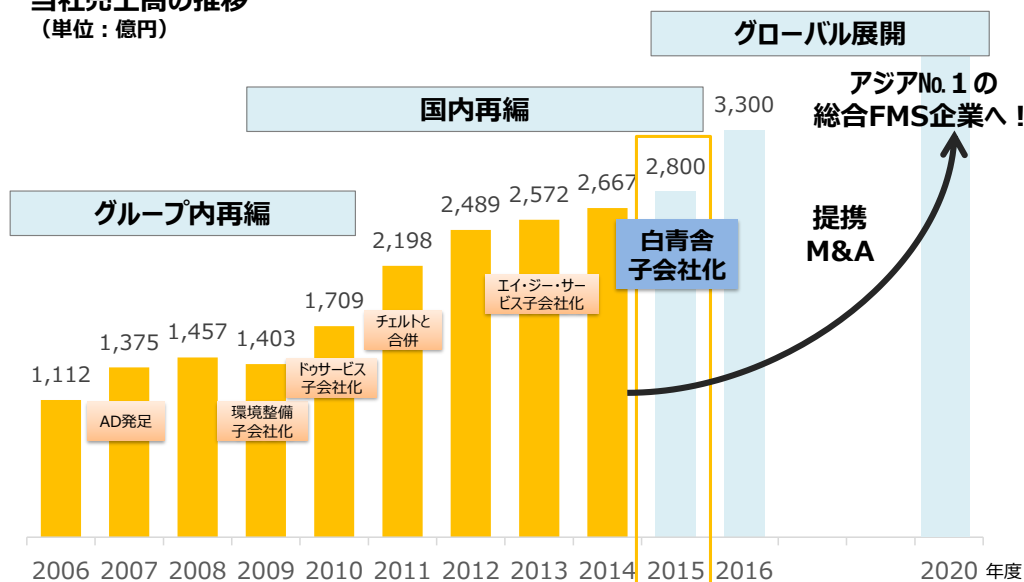
(平成 27 年 3 月 31 日現在)

(1) 名 称	株式会社白青舎			
(2) 所 在 地	東京都千代田区岩本町一丁目3番9号			
(3) 代表者の役職・氏名	取締役社長 内田 隆			
(4) 事 業 内 容	ビルメンテナンス事業、警備事業、その他事業			
(5) 資 本 金	450 百万円			
(6) 設 立 年 月 日	昭和 29 年 8 月 13 日			
(7) 従 業 員 数	3,256 名(社員 536 名、パートタイマー2,720 名)			
(8) 最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態				
	決 算 期	平成 25 年 3 月期	平成 26 年 3 月期	平成 27 年 3 月期
連 結 純 資 産		6,169 百万円	6,501 百万円	6,636 百万円
連 結 総 資 産		8,024 百万円	8,603 百万円	8,821 百万円
連 結 売 上 高		9,722 百万円	10,036 百万円	9,838 百万円
連 結 営 業 利 益		354 百万円	264 百万円	175 百万円
連 結 経 常 利 益		454 百万円	448 百万円	275 百万円
連 結 当 期 純 利 益		296 百万円	289 百万円	172 百万円

イオンデライトが主導するビルメン事業の再編・グローバル化



当社売上高の推移  
(単位：億円)



出典：イオン(株)決算補足資料、イオンデライト(株)有価証券報告書

AEON DELIGHT CO., LTD.  
all rights reserved

## イオンディライトが目指す清掃事業の変革



### これまで

#### 労働集約型

- 人員の確保を重視する
- 人的資源の活用は、勘と経験と頑張り relies on a large part

#### ローカル中心

- 地域に多くの中小企業がひしめく
- スケールメリットが効きにくい
- 人材、知恵、技術が分散している

#### 御用聞き営業

- お客さまからの作業を請け負う
- 約束するのは作業の実行
- 交渉の中心は価格

### これから

#### 知的資本集約型

- ノウハウ・技術の確保を重視する
- 知的資源（技術、特許、ブランド、ライセンス）を活用する
- 誰でも、いつでも簡単に作業ができる

#### グローバル展開

- 大企業主導で集約する
- スケールメリットを追求する
- 人材、知恵、技術を共有する

#### 付加価値提案型の営業

- お客さま目線での提案を重視する
- 約束するのはサービスの出来映え
- 交渉の中心は施設の付加価値

AEON DELIGHT CO., LTD.  
all rights reserved

## M&Aの目的



### スケールメリットの追求

- 集中購買によるコスト競争力の強化
- 人員の採用・確保
- 顧客への交渉力

### 経営人材の教育・登用・活用

- グローバル水準のマネジメント体制の構築
- 教育施設、プログラムの導入・活用

### 先端技術テクノロジーの研究・開発

- IT投資
- 業務用資材の研究・開発

業界の統合・再編

グローバル・レベルの  
経営基盤

AEON DELIGHT CO., LTD.  
all rights reserved